令和7年度第1回碧南市総合教育会議 会議録

1 日時 令和7年8月28日(木) 午後3時30分から午後4時12分まで

2 場所 碧南市役所4階 庁議室

3 出席者

(1) 碧南市長 小池 友妃子

(2) 教育委員会

委員 岡本 明弘、委員 深津 茂樹、委員 榊原 京子、委員 大村 幸、教育
長 小澤 徹

(3) 事務局職員

企画財政部長 生田 和重、教育部長 岡本 和雄、企画政策課長 山本 貴史、
企画政策課主幹 松野 盛高、学校教育課長 鎌谷 祥行、生涯学習課長 金原 厚
夫、文化財課長 山田 光則、スポーツ課長 中嶋 忠彦、水族館長 地村 佳純、
美術館副館長 木村 理恵子、企画政策課課長補佐 杉浦 宏和、企画政策課政策推
進担当係長 齋藤 堂晴

4 欠席者 なし

5 傍聴者 0人

6 議題

(1) 第3期教育大綱の策定について

(2) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）等の一
部改正の概要について

(3) 意見交換

6 会議の概要

(1) 市長あいさつ

本日はお忙しい中、令和7年度第1回総合教育会議に御参集いただき、ありがとう
ございます。教育委員の皆様におかれましては、日頃から碧南市の教育を見守り、ま
た、御助言をいただき、誠にありがとうございます。

本日の総合教育会議は、「第3期教育大綱の策定について」と「公立の義務教育諸
学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）等の一部改正の概要につい
て」を議題とします。少子化の波はここ碧南にも確実に押し寄せてきており、目まぐ
るしい社会情勢の変化に対し、法改正をはじめとするこれからの教育行政のあり方に

ついて、検討及び議論をすることは大変難しいことだと思います。ですが、同時に、未来を担う子供たちのために、大変意義の深いことだと感じています。

今日は未来の碧南のために、慎重審議をいただきますようお願いを申し上げ、あいさついたします。

よろしく申し上げます。

(2) 議題

ア 第3期教育大綱の策定について

企画政策課主幹が資料1及び修正案に基づき説明した。

〈意見・質疑〉

委員 修正案①で外国人児童生徒を変更し、②で外国人児童生徒に変更する、ということとなっていますが、整合性についてどう理解したらよいでしょうか。

企画政策課主幹 修正案①については、修正前の案は外国人児童生徒ということで、外国籍を有する児童生徒を想定した表記としておりましたが、実際には日本国籍を有する児童生徒であっても日本語指導を必要とする生徒もいますので、表記の範囲を広げる意味で修正をしたいというものです。

修正案②については、外国人の学びの場についてですが、児童生徒の年齢層を義務教育プラス高校生ということで対象をより明確にする趣旨で修正したいというものです。

委員 ありがとうございます。

教育長 学校現場の話ですが、国籍うんぬんで区別するのが相当ではない印象がありますので、修正案①のような表現を使っている文書はよくみられると考えます。

教育大綱案5 ページ「1 学校教育①教育内容や環境の充実」の項目中、2つ目の箇所ですが、「小学校外国語の教科化に対応するために、」という部分は、小学校外国語の教科化は既にスタートしていますので、削除した方がよいと思います。

企画政策課主幹 ありがとうございます。今のご意見を踏まえまして、修正を加えさせていただきます。

審議の結果、承認された。

- イ 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（給特法）等の一部改正の概要について
学校教育課長が資料2に基づき説明した。

〈意見・質疑〉

委員 主務教諭の仕事、役割の違いはどのような感じになるのでしょうか。

学校教育課長 もし主務教諭が新規で配置されてくると役割は変わってきそうです。学校において主幹教諭と教諭の間にある職ということなので、校務主任、教務主任が担っている業務を分け合うようなイメージになることが想定されます。

委員 主務教諭が増えること、35人学級を中学校でも実施していくことに伴い、職員が増えることは子どもにとってありがたいことですが、碧南市は対応できそうでしょうか。

学校教育課長 教員の採用は県の採用で、市に配置されることとなります。来年度の新規採用教員がどれだけいるかが関わってくると思います。足りない教員の分は講師で対応していますが、講師の人手不足は全国的にも課題ではあります。この課題は、来年度以降も厳しい状況が続いていくと考えられます。市としては、講師の募集に手を尽くしていきたいと思います。

委員 教師の業務の範囲の管理について、そもそも教員の業務の範囲の確定というところは、はっきりしていますか。

学校教育課長 文部科学省からは、今までも学校が担うべき業務、学校が必ずしも担わなくてもよい業務及び学校外が担うべき業務という3つに分類されて示されています。

例えば、学校徴収金の管理、生徒の登下校の安全管理、時間外・夜の生徒指導については、学校外が担うべき業務として方針が示されています。ですが、現状、その方針が現場で実践できていないところがあります。

新たに示されてくる指針には、この部分に対する対策案が強く打

ち出されてくると思われまますので、計画を具体的に策定する中で検討が必要になるかと思われまます。

加えて、不当な要求を行う保護者への対応も学校外でどのように担っていくのか、検討が必要になってくるものと思われまます。

審議の結果、承認された。

ウ 意見交換

〈意見・質疑〉

委員 学校訪問に行かせてもらっている中で、子どもたちの成長のための環境を構築してもらうため、2つ提案をさせていただきたいです。先生の業務量の軽減を図って、先生が生徒に向き合える時間をより確保してもらいたいです。業務量の軽減のうち、個人の書類の量を減らすための書類のデジタル化、時間短縮のためのオンライン化を進めてほしいと思います。

もう一つは、支援員の方への福利厚生の実を市独自で行っていただきたいと思ひまます。

市長 貴重なご意見をありがとうございます。

委員 暑さ対策、今の時期ですと空調等になりますが、健康対策への配慮をお願いしたいです。

教育内容への意見として、職業選択のための多様な職業、職種の紹介の機会があると良いと思ひまます。

委員 光熱費の高騰化への準備が必要ではないかと思ひまます。体育館の空調はこれから準備いただけると思ひまますが、体育館は避難所にもなると思ひまます。インフラ整備をこれまで以上に注力してもらえるとありがたいです。

また、こどもまんなか応援サポーターとして、市長が力を入れていきたいと考えているところを具体的に教えていただきたいです。

市長 こどもまんなか応援サポーターは、こども家庭庁でつくられたものですが、東京で女性市長会が開催された際に、会議にみえたこども家庭庁の長官から声掛けをいただき、賛同して始めることとしました。市長になる前から、もともと子どもに力点を置いてやってき

ていました。今まで取り組んできたことを続けていきたいと考えています。

インスタグラムでは、今まで進めてきたことや計画にあるもののうち、子どもに特化したものについて「#こどもまんなかやってみた」と情報をアップし、見える化をし、発信しています。

時期を同じくして碧南青年会議所のメンバーが「ベビーファースト」という言葉を使って子育ての取組みを応援していくというところですので、一緒にPRしていけたらと思います。またご覧いただけたらと思います。

委員 猛暑対策として、中学生の子供がいまして、夏休みの部活動、練習試合を他の学校とやっていて、その生徒が暑さのために何人か気分が悪くなってしまったことがありました。ですので、体育館、柔剣道場の空調設備の設置工事は来年度から行われることとされますが、計画から遅れることなく行っていただきたいと思います。

教育長 委員の皆さんは現に児童生徒がみえたり、どなたもお子さんをお持ちです。おっしゃられたご意見は保護者の意見も当然含まれています。私としても同感であるところもあります。大綱に関しても、市を支えていく人づくりという意味でも、子どもたちの育成、教育に尽力できたらと思います。

市長 空調設備については、中学校から今年制度設計を2か所、その次に3か所、順次進めていきたいと思っています。

トイレにつきましては、小学校の改修が1校残ってはいますが、進めていきたいと考えています。

(午後4時12分 閉会)